

平成 30 年度

第 56 回 越馬徳治科学賞 表彰状授与及び助成金交付式

日時 平成 31 年 2 月 13 日(水)

13:30 ~ 14:30

式場 石川県教員総合研修センター大研修室

式 次 第

- 1 開式のことば
- 2 表彰状及び記念品等授与
個人表彰
功労者表彰
学校表彰
- 3 助成金交付
学校助成
- 4 表彰状授与及び奨励金交付
研究奨励
- 5 あいさつ
石川県科学教育振興会会長 菱 沼 捷 二
- 6 来賓祝辞
石川県教育委員会教育長 田 中 新太郎
- 7 受賞者代表謝辞
- 8 閉式のことば

主催 石川県科学教育振興会

共催 石川県教育委員会

受賞者等の紹介

1 個人表彰

金沢市立小立野小学校 教諭 **久野 将義**

金沢市立千坂小学校を初任に、津幡町立中条小学校、金沢市立小坂小学校を経て現在に至る。研究面では、越馬徳治科学教育研究奨励の受賞や、石川県理科教育研究大会地学部会等で発表がある。指導面では、金沢市児童科学教室指導員を務め、科学教室の指導にあたった。また、「理科の学習」編集委員、金沢市教職員研修「理科実技」講師、金沢市小学校教育研究会運営委員を務めるなど、理科教育の振興に貢献している。

金沢市立鳴和中学校 教諭 **西野 秀子**

金沢市立高岡中学校を初任に、同額中学校、同泉中学校、金沢大学人間社会学域学校教育学類附属中学校を経て現在に至る。研究面では、高峰賞学校賞の受賞や、金沢市中学校教育研究会や全国中学校理科教育研究会等での発表がある。指導面では、理科担当教員として、科学作品コンクールの出品啓発と指導にあたるとともに、高峰賞応募生徒に対して研究指導を行い、高峰賞受賞へと導いた。また、石川県理科教育研究大会では理科授業協力者等を務めるなど、理科教育の振興に貢献している。

石川県立志賀高等学校 教諭 **北原 点**

加賀市立錦城中学校を初任に、石川県立七尾城北高等学校（同高浜高等学校 兼務）、同富来高等学校、同輪島高等学校、同七尾高等学校、同金沢二水高等学校を経て現在に至る。研究面では、石川県高等学校理化教育研究大会での発表実績がある。指導面では、スーパーサイエンスクラブ顧問として、天文研究指導にあたり、生徒の高校生天体観測ネットワーク全国フォーラム研究発表やスーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会での研究発表の指導を行った。七尾高等学校ではSSH推進室長を務めた。また、石川県高等学校教育研究会理化部会事務局を務めるなど、理科教育の振興に貢献している。

2 功労者表彰

加賀市立作見小学校 校長 **竹中 哲男**

加賀市立山代小学校を初任に、同東谷口小学校、同錦城小学校、山中町立河南小学校、小松教育事務所派遣社会教育主事、加賀市立河南小学校、同山代小学校主幹教諭、小松市立矢田野小学校教頭、加賀市立片山津小学校教頭、同湖北小学校校長を経て現在に至る。研究面では、石川県理科教育研究大会での発表実績がある。指導面では、科学作品コンクールで審査委員等を務めるなど、科学作品の指導及び助言にあたった。また、石川県理科教育研究大会小松・能美大会実行委員、同加賀大会実行委員長、加賀市学校教育会小学校理科部会部長等を務めるなど、理科教育の推進に貢献している。

七尾市立七尾中学校 校長 **辻口 裕規**

小松市立矢田野小学校を初任に、七尾市立小丸山小学校、同東部中学校、上越教育大学大学院（内地留学）、七尾市立朝日中学校、同御祓中学校、七尾市教育委員会事務局学校教育課課長補佐兼指導係長兼教職員係長、石川県教育委員会事務局教職員課主任管理主事、七尾市立御祓中学校教頭、同七尾東部中学校教頭、同校長、同能登香島中学校校長、同田鶴浜中学校校長を経て現在に至る。研究面では、越馬徳治科学教育研究奨励による研究や、多数の研究大会等での発表実績がある。指導面では、理科担当教員として、科学作品コンクールの出品啓発と指導にあたるとともに、七尾市おもしろ科学展での指導も行った。また、石川県科学教育振興会常任理事等を務めるなど、理科教育の推進に貢献している。

小松市立高等学校 校長 諸角 敏彦

小松市立松陽中学校を初任に、石川県立内灘高等学校、同小松高等学校、小松市立高等学校、石川県立金沢西高等学校主幹教諭、同野々市明倫高等学校主幹教諭、同小松明峰高等学校教頭、同金沢西高等学校副校長を経て現在に至る。研究面では、「光センサーを利用した化学実験」をテーマに県教職員研究奨励の実績がある。また、石川県高等学校教育研究会理化部会事務局、同副会長を務めた。全国理科教育大会石川大会では、準備委員会、大会運営副委員長として式典、記念講演の司会をするなど、理科教育の推進に貢献している。

3 学校表彰

金沢市立木曳野小学校

(校長 高島 伸成)

当校は、「よく考え、自己を表出し、自ら創り高める子」を目指す児童像に掲げ、確かな学力の定着を目指した教育活動に取り組んでいる。科学分野における「学校・家庭・地域の協働」に向けて推進活動を行い、理科好きな子ども達を支える家庭の目と心を育むきっかけとしている。夏休みを利用した科学研究とアイデア工作への奨励を行い、科学作品コンクール、発明くふう展等で多数の受賞者を輩出している。自然や科学を「見る」「触る」機会を増やすために、「科学展示コーナー」を設置し、季節の生き物を飼育したり、科学実験やロボットなどの最新科学技術を紹介している。

金沢市立小将町中学校

(校長 瀬谷 浩)

当校は、金沢子ども科学財団主催の中学校サイエンスクラブの会場校として、生徒の科学する心を育む拠点となってきた。理科室を開放して、自由研究の相談や実験器具等の貸し出し等を行い、理科研究を奨励してきた。その結果、科学作品コンクール等で多数の受賞者を輩出している。また、文部科学省「理科教育における地域型キャリア教育推進事業」推進校の指定を受け、理数教科を中心に、地域人材や協力機関の活用・連携を進めている。また、「教科授業力向上事業」推進校の指定を受け、観察・実験の時間を多く設け、問題解決型の学習を通し、現象に出会う喜びや学ぶ楽しさを喚起することに取り組んでいる。

石川県立小松高等学校

(校長 小浦 寛)

当校は、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定され、先進的な理科教育の実践および科学的探究力を高めるための指導法や教育課程の研究開発に取り組んでいる。理科実験室の環境整備を推奨して生徒実験の充実を図るなど、探究活動を充実させる実践を行っている。特に、普通科も含めた全校生徒が課題研究に取り組んでいる。成果として、全国SSH生徒研究発表会や日本物理学会Jr.セッションなどの全国レベルの課題研究発表会において、多数の受賞者を輩出している。

4 学校助成

かほく市立宇ノ気小学校

(校長 田畑 寿史)

かほく市立宇ノ気中学校

(校長 山本 桂一)

石川県立津幡高等学校

(校長 鷺澤 勝)

平成31年度にかほく市で開催する、第56回石川県理科教育研究大会の公開授業担当校として、小・中・高をつなぐ理科教育を積極的に推進している。

5 研究機関助成

石川県教員総合研修センター

(所長 平 畠 敏 彦)

科学教育の充実に向け、教員の指導力・実験力向上のための研修を実施し、科学教育の振興・発展に努めている。

6 研究奨励 (※は研究代表者)

[奨励賞]

児童が主体的に自然事象の問題を解決することに関する実証的研究

～自由研究レポート作成をめざした学習過程～

金沢市立田上小学校教諭 狩野 祐史

生命の連続性を意識し、深い学びを実現する系統的な単元構成に関する研究

金沢市立十一屋小学校教諭 小松 武史* 野々市市立館野小学校教諭 福嶋 康晴

子どもが創る理科 ～関わり合い、追究する子を目指して～

金沢市立戸板小学校教諭 瀧坂 萌* 金沢市立三馬小学校教諭 山岸 留美
金沢市立粟崎小学校教諭 服部 綾子 金沢市立夕日寺小学校教諭 別宗 美幸
金沢市立夕日寺小学校教諭 河合 真衣
金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校教諭 岡部 佐穂里

わくわくするような理科室のあり方 ～プレイング掲示物の作成を通して～

かほく市立高松中学校教諭 中川 絢太

豆電球を含む回路の探究的な演示実験手法の開発

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校教諭 渡會 兼也*
京都教育大学名誉教授 沖花 彰

地域水質の調査と授業展開

石川県立翠星高等学校教諭 井上 裕紀* 石川県立翠星高等学校教諭 鈴坂 和己

農業高校としての理科教育の在り方

石川県立翠星高等学校教諭 北出 裕賀里